

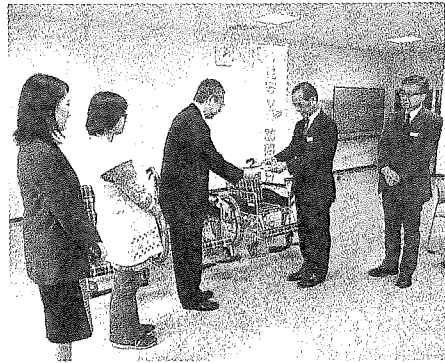
各企業等の社会貢献

Gホームに車いす3台

7年連続、計21台プレゼント

宮坂建設工業が札幌北區に

宮坂建設工業(株) (帯広、宮坂寿文社長) は二十八日、同社札幌支店を構える札幌市北區の社会福祉協議会に車いす三台を寄贈し

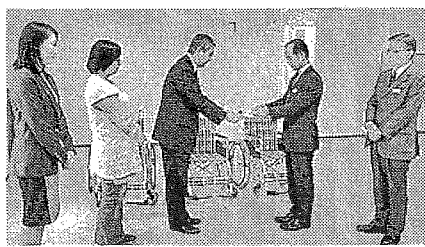


目録を手渡す有川副社長(右から2人目)。右端は佐々木支店長

た。北區役所で行われた贈呈式には、有川進副社長、佐々木勝幸札幌支店長らが出席。有川副社長が「車いす寄贈は七回目になるが、北區の方々のお役に立てば」とあいさつし、北區社会福祉協議会の堂前晃常務理事に目録を手渡しした。同社には北區社会福祉協議会から感謝状が贈られた。

の織田さくら代表は「区内には三十六のグループホームがあり、車いすの利用者も多い。年数がたつて傷んだ車いすは危険なので、寄贈はありがたい。大切に使用させていただきたい」と感謝していた。同社の車いす寄付は平成二十年から毎年継続し七回目。廃品回収業者のリサイクルポイント制度を活用し、本社と支店を置く帯広、札幌、釧路の三市に車いすの贈呈を続けている。北區への寄贈は今回を含め計二十一台になった。同社は五月に帯広市、釧路市にもそれぞれ車いす三台を寄贈する。

2014.04.29 北海道建設新聞



北區社会福祉協に車いす3台寄贈

宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長) 札幌支店は二十八日、北區社会福祉協議会に車いす三台を寄贈した。写真。20

〇八年から続けている地域貢献の取り組みで、今回が七回目。北區役所内での贈呈式には、有川進副社長や佐々木勝幸札幌支店長らが出席。有川副社長は「北區に支店を置き、いつも地域の人たちに支えられながら仕事をしている。車いすを北區の施設で役立ててほしい」と話し、協議会の堂前晃常

務理事に目録を手渡した。北區グループホーム管理者連絡会の代表として出席した、グループホームゆあいの織田さくら代表は「事業者が心待ちにしている。また協力をお願いします」と、感謝の気持ちを伝えた。同社は、本社と釧路支店でも五月に入ってから、現地に車いすを寄贈する予定という。